

1. 社会福祉法人 朋 愛 会

今年度は4月に春の叙勲が発表され、「瑞宝単光章」を2年連続でケアハウスわかばの介護職員が受章し、輝かしい幕開けとなりました。また、6月には日本創成のための将来世代応援知事同盟の企業表彰で当法人が「将来世代応援企業賞」を受賞しております。

一方、世界に新型コロナウイルス感染症が発生してから3年目となりました。市内の病院、施設等も徹底した感染対策に努めていたにも関わらず、7～8月にかけて感染者数が増加し、クラスター（感染者集団）が度々発生しました。そのような中で「ケアハウスわかば」でも、8月初旬にクラスターが発生しました。中旬には収束し、通常業務を再開することができましたが、その間に職員7名の内4名がホテル又は自宅療養となったため、法人内の各事業所から介護職員2名を応援職員として派遣しました。11月に入り市内の感染者数が再び増加し、第8波の感染者数の増加とインフルエンザ感染者数の増加が同時に危惧される状況になりました。入所者の皆様には、11月末にインフルエンザの予防接種、12月中旬には第5回目のオミクロン株対応2価ワクチンの接種をしていただきました。感染対策に細心の注意を払い感染症対策委員会ならびに光風園病院と連携しPCR検査体制を強化するなど早期発見に努めクラスター対策に取り組んできました。しかし、年末になり「特別養護老人ホームみどり園」の認知症対象フロアでクラスターが発生し感染者数が増加しました。光風園病院長ならびにスタッフの皆様の連日に亘る指導ならびに治療により1月下旬にはクラスターが収束しましたが、この間、介護職員も感染し介護現場も人材不足になるなど混乱する状況になりました。治療期間中は、新規入所者ならびにショートステイ利用者の受入れ中止、ご家族との面会中止等、制限を強化し細心の注意を払いながら運営に努めてきました。また、今年度は市内の感染者が増加するたびに在宅部門では、ご家族・ご利用者がサービス利用を控えるなど安定した経営ができない状況でした。訪問介護事業所では同居のご家族がコロナに感染し、利用者が濃厚接触者としてサービス利用を受けられないケースもありました。デイサービスセンターも他の通所介護事業所に感染者が増加し休業する中、感染地域からご家族が帰省した場合や利用時に健康チェック表を提出してもらいコロナの症状が疑われる場合は、ご家族の同意を得て利用を控えていただく等、感染対策強化に取り組まざるをえない状況になりました。

今年度、「稼働率を上げ安定した経営」を目標に取り組んできましたが、昨年度同様、厳しい経営状況となりました。更に燃料費や生活用品の高騰が直撃し事業経営悪化に拍車をかけました。山口県より「山口県介護施設等光熱費高騰緊急対策支援金」や「令和4年度山口県介護施設等物価高騰緊急対策支援事業補助金」を受けましたが補填額には程遠い金額でした。

地域貢献活動では、当法人と長府東部地区まちづくり協議会共催による「映画の上映会」を昨年を引き続き7月末に長府東公民館で開催しました。午前中は親子で楽しめる「ペット2」、午後からは福祉映画「老後の資金がありません」を上映し多数の方が参加され喜ばれました。12月中旬には管理栄養士を中心とした「骨粗鬆症予防のための食生活」をテーマに料理教室を長府東公民館で開催しました。試食会を中止し弁当形式に変更するなどコロナ対策に取り組みながらの実施となりましたが好評でした。地域住民の要望により高齢者を対象とした生活必需品の購入を目的とする買物バスの運行は6地区の自治会となり、長府地区の感染状況を確認しながら実施し参加者からは感謝されました。地域の公園清掃活動も継続して実施してきました。また、下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の地域活動も関係機関と連携を取りながら地域の方が安全・安心に生活が確保できるよう取り組んできました。

長年の懸案事項でした介護人材の確保については、新卒者の応募者がいない現状であるため人材の不足を補うため特定技能1型として5年間就労が可能なミャンマー人2名を3月1日に採用しました。今後、介護福祉士の国家資格を取得できれば更に延長も可能になります。今後、資格取得に向け受験対策に取り組んでいきます。

職員が安心して働きやすい労働環境を整備するため介護職員処遇改善加算を財源に夜勤手当ならびに業務資格手当の増額、非常勤職員の時間給単価の引き上げなど給与規程の改定ならびに勤務時間の見直しによる休日日数の増加を図る就業規則の改定にも取り組みました。

しかしながら新型コロナウイルスは、アルファ株が変異しデルタ株になり更に変異しオミクロン株へ置き換わりました。現状では、集団での免疫ができたことにより変異は流行しづらくなったものの派生ウイルスが流行しやすい状況で収束に至っていません。今後、新たなウイルスがパンデミック（世界的大流行）を引き起こす可能性もあります。ロシアによるウクライナ侵攻を背景にしたエネルギー価格の高騰に加え生活用品の更なる値上げも検討されるなど経営を取り巻く環境は一段と厳しくなります。役員が一丸となって課題解決に向け積極的に取組み、これからも安定した法人経営を目指し、更なる地域福祉向上に取り組んでいきます。

2. 介護老人福祉施設 みどり園

令和5年3月31日現在、63歳から106歳までの84名（男性10名・女性74名）の方が生活され、平均年齢は、昨年と同等の88歳9か月となりました。要介護度は4.3で昨年度と同水準になっています。要介護5の方が全体の35.7%、要介護4と5の占める割合が89.3%と昨年度よりもさらに重度化の方が増え、大半を占める現状となっています。

今年度の退所者数は33名と昨年と同水準になっています。その内訳は、みどり園で最期を迎えられた方が18名、長期入院が14名、他施設入所が1名でした。

欠員補充に努めましたが次期入園者が確保できず空床期間が長期化し結果的に介護報酬の減収となりました。

空床期間が長期化した要因は以下の5つが挙げられます。

- ① 入所者がたて続けに入院され、退所となった。
- ② 「要介護度3」の新規入所割合が多くなると介護報酬が減額される仕組みがあるため、「要介護度4・5」の申し込みをされている方に連絡するが他施設へ入所しており、入所者の選定に時間がかかってしまった。
- ③ 次期入所対象者の実態調査を行った結果、申し込み時の介護度より軽度化がみられ、次回の介護保険更新の際に、認定結果が「要介護度2」以下になりそうだと予想されるケースがあった。
- ④ 次期待機者であるロングショートステイ利用者の確保が追い付かなかった。
- ⑤ コロナ禍で市内の感染者状況ならびに職員の勤務状況に配慮した結果、次期入園者決定時期に躊躇してしまった。

今後の課題として、安定した経営を確保するためにも入所検討委員会で示された入所順位を考慮しつつ、次期入所待機者となるロングショートステイの利用候補者を早めに選定しておくことが重要であると考えます。全スタッフが協力し、経営の視点から欠員期間を限りなく0日に近づけるように取り組んでいきます。

今年度の月間入居率は、年度平均96.2%と昨年94.1%に比べ2.1%増加しました。入院件数は、31件でした。介護保険の減収は、入院期間にも反映されるため中長期化の入院になるかどうかは、治療をお願いしている病院の医療相談員へ治療状況を確認する際に判断し、施設での生活が難しい状況となれば、早い段階でご家族へ、再入所できることなど、しっかり説明の上、待機者にベッドを譲っていただくよう対応に努めました。入院日数は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、退院の調整に日数を要したこともあり、昨年を下回ったものの依然として多い傾向にあります。今後も入所者の体調管理をはじめ、体調変化・不良を早期発見し、対応することで入院件数、日数が縮減できるよう多職種で連携を図っていきたいと思います。また、空床を積極的に利用し社会資源を有効活用するよう努めていきたいと思います。

入所者の高齢化・重度化の現状において、ご家族に対し、ご本人に起きうるリスクについて十分に説明し、リスクカンファレンスで話し合った内容をケアプランに盛り込み、入所者やご家族からのご要望に対する関わり方、介護方法や記録のあり方についても協議・検討し、統一したケアを心掛けました。

今年度も入所者の皆様が快適な生活を楽しめるように、職員一人一人が初心に立ち返り、サービスの基本である、「入所者の人権の尊重」・「入所者の立場に立ったサービスの提供」・「入所者の安全確保」・「入所者の苦情に迅速かつ適切に対処する体制づくり」を念頭においてサービス向上に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止に伴い、入所者ご家族のご理解ご協力の下、面会や外出・外泊の自粛をしていただいております。ご家族の入所者になかなか会うことができない不安を少しでも緩和できるよう、お手紙・写真・電話などで日々の様子や状態報告を行い対応してきました。引き続き、感染予防対策ならび予防に努め、安心して生活が送れるよう取り組んでいきます。感染状況をみながら面会・行事など再開し普段の生活が取り戻せるよう取り組んでいきます。

施設整備として老朽化したシャワーバスを7月に更新しました。今後も設備点検を細目に実施し安心・安全が確保できるよう計画的に更新してまいります。

3. みどり園短期入所生活介護

今年度は、新規利用者41名を含め、実人員75名の方がサービスを利用されました。

また、前年度と同様にロングショートステイ利用者の受け入れに力を入れてきました。ロングショートステイには、施設入所者に欠員が生じた場合、速やかに施設入所が出来る等、一連の流れが確立されている為、ご利用者並びにご家族にとって安心して利用できるサービスです。対象者は特養への入所申し込みをされている方で、在宅福祉サービスを利用して在宅生活の継続が困難な方、すでに在宅生活が難しく老人保健施設等の施設に入所されている方、もしくは退院後、在宅での生活が難しい方の中から居宅介護支援事業所等との協議の上、決定します。

ロングショートステイ利用者の受け入れには、新型コロナウイルス感染症対策として、直接調査を行わずアセスメントシート、情報提供による書面にて介護・医療的な側面を確認し、みどり園で対応が可能かどうかの検討も必要なため、選定に時間を要します。

今年度は、各関係機関への声掛けにより、施設入所希望の有る方への調査件数を増やし、18名の新規ロングショートステイ利用者を受け入れる事が出来ましたが、特養みどり園に欠員が出た為、ロングショートステイ利用者が立て続けに入所したことにより空床期間を短縮することができませんでした。

その他にも、利用予定者の体調不良や入院等により突然の利用キャンセルもあり、令和4年度の延べ利用者数3,188名と前年度比19.3%減、1日平均利用者数8.7名及び稼働率54.4%と前年度を下回る結果となりました。

新型コロナウイルス禍にあるため利用の際には、数日前からご利用者、ご家族へ検温をお願いし37.0℃以上の熱がある際は利用中止とさせていただきます。その他にもコロナの症状や県外、渡航歴のある方との接触がないか等の確認シートに記入していただき該当項目がある場合は、抗原検査・PCR検査を活用していただき安全を確認の上、利用していただくなど感染対策に取り組んできました。また、施設内でのご利用状況については、ご家族に安心していただけるよう、電話等で日々の様子、状態報告を行い対応してきました。

来年度は、定員16名の内ロングショートステイ利用枠として1日10名を確保します。利用者の空床ベッドを少しでも短縮できるよう、待機者を事前に確保できるよう取り組んでいきたいと考えています。

今後も施設・各関係機関との連絡・連携を密にし、ご利用者ご家族の要望に幅広く応じられるよう、居室及び職員体制を整備し信頼関係の構築を図るとともに、利用者が楽しみを持って利用できるようアクティビティプログラムの再検討を行い「利用して良かった」「不安なく利用できた」「利用して楽しかった」

とさせていただけるよう、また、個々に合ったサービス・声かけを行い、サービスの質の向上に努めます。

4. みどり園訪問介護事業所

ア. 予防給付型訪問サービス、訪問介護

予防給付型訪問サービスは、日常生活上の基本動作がほぼ自立しており、状態の維持・改善の可能性も高い要支援者を対象とするものであり、本人の目標に向けたケアマネジメントに基づきその人らしい生活を支えるサービスを提供する事業です。

実利用者数が、令和3年度は72名、今年度は67名と前年度と比較すると5名利用者が減少しました。利用件数は前年度より約530件減少しました。複数回利用の方が、入院・施設入所が多かったためです。引続き、地域包括支援センターとより一層の連携を図り予防に力を入れ、利用者の意欲を引き出し、本人の望む在宅生活を1日でも長く安心した在宅生活を送るお手伝いをさせていただきたいと思っています。

訪問介護の今年度の派遣回数は5,773件（前年6,603件）と830件減少しました。今年度も、昨年度の介護報酬を下回らないようにと目標を置き、日々取り組んでまいりました。実利用者数が3年度は55名、今年度は54名です。今年度は、身体介護Ⅰ（20分以上30分未満）が増加し、身体介護Ⅱ（30分以上60分未満）は減少しています。この結果、自宅で入浴されていた方が、デイサービス等のサービスを利用しての入浴を好む方が増えた傾向にあると考察されます。収入減に関しては、利用者数減少によるものに加えて、職員数にも関係しています。令和3年度は常勤職員4名+兼務職員2名、今年度は常勤職員5名+兼務職員1名でした。また、令和4年度内に退職予定の常勤職員が3名いた事により、新規利用者を受けることが難しい状況になっていた事も大きな要因となっています。

このような状況を踏まえ、来年度もより適正な事業活動を行うと共に、令和4年度の事業目標に掲げていた信頼され・愛され・支持される事業所を引き続き目指し、地域に根ざした福祉サービスの提供に努めて参ります。今後も在宅で援助を必要とする方々によりよい在宅生活の提供ができるよう、安全で安心したサービス提供を心がけ、利用者の置かれた状況に即した課題を挙げ、個別性を重視していきます。一人暮らしの高齢者や、高齢世帯にとって体調管理は大変重要です。今後はより、個々の体調に目を向け、異変の早期発見、早期対応に心掛けていきたいと思います。

イ. 指定居宅介護・重度訪問介護

指定居宅介護は障害程度区分1以上の方に対し、身体介護、家事援助、通院等介助等のサービスを行なう事業です。

また、重度訪問介護は障害程度区分4以上の重度肢体不自由者の方を対象とした事業です。今年度は重度訪問介護の実績はありませんでしたが、今後依頼があれば随時すみやかな対応に努めていきます。

指定居宅介護は、派遣回数566件（同行援護0件）、（前年度711件）の活動実績がありました。前年度と比較すると、145件減少しました。利用者1名が介護者負担軽減の為、年3回（1回30日程度）レスパイト入院をされたり、1名が定期的に治療入院されたりと、月により利用実績は大きく異なります。今後も利用者にとって訪問介護は生活に欠かせない存在であるため、全てのヘルパーの質の向上を図り、専門的な知識と柔軟性を持ち、利用者に安心した生活を提供できるよう努めて参ります。

ウ. 同行援護

同行援護事業とは、視覚障害により移動に著しい困難を有する障害者に付き添い、外出時において、当該障害者に同行して行う移動の援護、排泄及び食事等の介護、その他の当該障害者が外出する際に必要な援助を行う事業です。以前利用されていた方は、コロナの影響もあり、違ったサービスを利用することで外出の機会をもたれています。

今年度は対象者がいませんでしたが、今後も幅広い対応ができるよう努めていきたいと思っております。

エ. 下関市移動支援サービス事業

下関市移動支援サービス事業とは、下関市の認定を受けた屋外での移動が困難な障害者等について外出の為の支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的とした事業です。

今年度は対象者がいませんでしたが、いつでも外出に不安を抱かれている利用者に対し、安心して安全な移動ができる支援を行う事ができるよう、派遣態勢を整えています。

5. みどり園デイサービスセンター

I. 介護予防通所介護・通所介護

1日定員30名、サービス提供時間7時間以上8時間未満の枠内で、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションの提供と、ご自宅まで直接伺う送迎サービスを行いました。年度当初1日平均利用人員28名を目標に取り組んでいましたが、今年度は1日平均23.0名、延べ7049名のご利用にとどまりました。前年度（延べ7063名）と比較すると0.2%減となっており、大幅な利用者増加とはなりません。原因としては、5月から8月までの間に複数回利用のご利用者が相次ぎ怪我・疾病等により長期入院した事と、施設入所による利用中止や短期入所の定期的利用及び体調不良による突然のキャンセルが重なったためです。

一方、新規顧客獲得のため各居宅介護支援事業所等へ、電話、チラシ送付による広報活動を行い、ご利用者の紹介をお願いしました。その為、前年度同様定期的に体験利用者のお話があり、体験された方の利用に繋がる確率も上がりましたので、8月以降少しずつは有りますが利用率増加となりました。しかし、前半の利用者減が長引き、その影響か、後半大幅な利用率増加へと繋がりませんでした。又、新規利用者は介護度も低く利用回数も週1回・週2回で介護報酬の増収は望めませんが、今後、長く利用して頂ける利用者が多く長期的に見れば安定した実績に繋がると予想します。

コロナの感染状況下で、市内の通所介護事業所でクラスターが発生するケースもあり、ご家族や利用者ご本人からサービスの利用控えもあるなど利用増に繋がり難いケースもありました。また、感染防止対策として、利用者の状態確認票をサービス利用時には、必ず提出していただき熱発等があれば利用中止とさせていただきます。家庭内感染が報道される中、ご家族の皆様にもサービス利用にあたってのお知らせを定期的に配布し、不要不急の外出・外泊禁止等をお願いしながら安心・安全なサービス提供に努めました。また、感染地域の県外からの帰省や来訪等による接触があれば、1週間程度利用を控えて頂くか、無料のPCR検査もしくは医療用抗原検査のご案内を行い、陰性が確認されれば直ちに利用再開できる事を説明いたしました。ようやく感染者数も減少傾向

にあり引き続き感染対策を続けながら、午前・午後の体操、昼食前の口腔体操、午後からのアクティビティ、季節を味わうことのできる行事企画を、新型コロナウイルス感染症が発生する以前の状態に戻していきます。それから当センターの一日の過ごし方を振り返ってみると、利用中椅子に座って過ごす時間がとても長い事に気付き、また、これまでにご自宅等で転倒・骨折され入院等で利用中止となるケースが多く見られましたので、昼食後のゆっくりしている時間を利用して、職員がご利用者個々に係れる時間を作り、バランスマットなどを使った体幹を鍛える運動等を行い、椅子に座っている時間を少しでもなくすようにした上で、下肢筋力強化に努めるようにしました。ドクターメドマー・ホットパックによる癒しの空間も残し、爪切り等の整容も行い会話の場を作ってきました。また、個別訓練では、理学療法士を中心にご利用者個々の身体能力に応じて個別機能訓練計画書を作成し、多職種と連携しながら運動能力向上に取り組み、ご自宅での日常生活が安心・安全にお過ごしできるよう目標に挙げて取り組んできました。

今後ご利用者本人やご家族との信頼関係を築きながら「利用日が待ち遠しい」サービス提供事業所として地域に根ざした事業経営に努めます。

ア. 下関市配食サービス事業

配達の際には安否確認を確実にを行い、異変・異常時には即座に関係機関へ連絡が取れる体制を整え、地域の独居高齢者が健康に安心して暮らせるように支援する事業です。利用者がある場合は食中毒予防などにも細心の注意をはらい季節感、彩り、栄養バランスを考慮した家庭的で美味しい配食弁当を調理し配達してきました。現在ご利用者はいません。今後、新たな配食希望者の為にも対応できるように体制を維持していきます。

6. みどり園居宅介護支援事業所

今年度も介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で、安心して生活していけるように、介護支援専門員（ケアマネジャー）が本人や家族の希望に基づきケアプランを作成し、「その人らしい在宅生活実現」のサポートをしてまいりました。個別ケースをもとに事例検討会を毎月実施することで、適切な介護サービスが提供されているかを再確認し、足りない視点、足りないサービスの発見に繋がりました。また、個々のレベルアップ及び生産性向上のため、オンライン研修会に積極的に参加し、医療機関や多職種間との連携を深め、マネジメントに生かしました。

まず、利用者数について、令和4年度の延べ利用人員は3,477名で、令和3年度3,554名に対し77名の減となりましたが、介護支援専門員数が令和3年度と比べて1名減少したため、月1名当たりの持ち件数は今年度4.4件増加しました。要介護度別で見ると、今年度は要介護1・2の利用者が令和3年度に比べ122名減少しました。利用者が新型コロナウイルス感染防止の為、介護サービスの利用を中止するなど、ケアマネジメントに繋がらなかったことがあげられます。しかし、要介護3・4・5の利用者につきましては、今年度は、令和3年度に比べ108名増加しました。各ケアマネジャーが持ち件数を意識し、また困難事例などで介護サービスを緊急で必要とされている利用者を積極的に受け入れたことで事業運営が円滑に行われ、持ち件数増加に繋がったものと思われまます。

事業運営として、ケアマネジメント面では、加算を確実に算定できるよう根拠となる書類の二重確認を行いました。また事業所内の情報交換、課題の共有、相談がスムーズに行えるよう定例会の実施に努めました。事務負担の省略化、軽減の取り組みとして現在行っている事務作業の見直しを行い、不要な書類や重複している書類などが無いか洗い出し効率的に事務作業が行えるようにしました。

令和5年度も人材育成に重点を置き、すべての介護支援専門員が適切なケアマネジメントが出来ることを目標とし、一人ひとりの利用者に対して、質の高いケアマネジメントを提供できる教育、指導、管理体制整備に重点を置き、一定の水準でケアマネジメントを提供できるようになることを目指します。

7. ケアハウスわかば

今年度は、退居者が3名、新規入居者が3名でした。9月に欠員が生じましたが11月に満床になり、現在も定員を維持しています。

新規入居者確保のために地域包括支援センター、地域連携室を要する病院等へ空き状況のお知らせを発信し、その後、多くの入居相談があり、資料の発送など、きめ細やかに対応しました。しかし、コロナ禍の中、面会制限や外出制限など感染対策の説明を行うと、入居申し込みを辞退される方が見受けられました。自立型の施設を申し込みされる方は外出のニーズも高く、集団生活における感染対策への理解が難しく感じました。令和4年度は退居者が少なく、新規入居者の受け入れがまずまずでしたが、令和5年度は退居者が多くなると予測されます。新型コロナの感染対策と規制緩和のバランスが難しいところですが感染状況をふまえながら対応し、定員確保に努めます。

新型コロナについては8月初旬に職員1人感染しました。その後8月9日に職員3人と入居者2人の感染が確認されクラスターとなりました。その後は新たな陽性者は確認されず10日後の8月19日に収束しました。収束までの期間はクラスター封じの為に光風園病院による、ゾーニングをはじめとした感染対策の指導や陽性者への診察や検査などの協力を得ました。また、わかば職員が手薄になり、みどり園からは職員派遣の応援を頂き、入居者全員に居室配膳を行うなどクラスター対策を行いました。

また、2月には長府のデイサービスを利用した入居者1名が陽性となりましたが、この時も光風園病院の検査及び診察で重症化することもなく、また新たな感染者もなく収まりました。

3月には下関市の感染対策チーム（SICT）による感染対策ラウンドがありました。館内の視察やマニュアルの点検、そして8月のクラスターの状況については「封じ込めの良き例」とした評価を頂きました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類へ移行する方向で検討されていますが、高齢者施設において新型コロナウイルス感染症のリスクは従来と変わっておらず、日頃の対策が大切です。感染予防は勿論のこと、感染対策の研修を繰り返して行うことが必要です。

入居者の高齢化が進み、85歳以上の方が8割近くを占め、介護認定も37名が要支援・要介護を受けています。介護サービスでは訪問介護のニーズが高く、28人が利用しています。訪問介護の場合、同一事業所（みどり園訪問介護）の利用が20人を超えると訪問介護事業所に減算が生じますが、現在19人が利用しているので20人を超えないように注意が必要です。入居者全体にADLの低下や認知症など介護が必要な方も増え、医療、福祉機関及びご家族と連携をとりながら、生活環境を整えることが求められます。

ケアハウスわかばは来年度に開設20周年を迎えます。独立行政法人福祉医療機構から建設時に借り入れた借入金も令和5年1月17日に弁済しました。令和5年3月16日に抵当権の抹消手続きが終了しホッとしましたが、現状では老朽化に伴い設備面の故障も多くなり、修繕や更新など維持管理が大変になるとおられます。また、物価高騰や入居者の重度化、入居者の確保など経営環境は今後ますます厳しくなりますが、ケアハウスの魅力を発信し、「わかばで暮らせて良かった」と思っただけのように努めます。

8. 下関市長府地域包括支援センター

令和4年度も事業計画に沿って活動をいたしました。「認知症理解の普及啓発」を行う為に、認知症サポーター養成講座を8回開催できた事は大変効果的であったと考えます。また、3月には3年ぶりの開催となる「認知症フェア in 長府東部2023」を、長府東部地区まちづくり協議会と協力し企画、実施

しました。コロナ前の開催方法とは違う、完全予約制で、初めから終わりまで席につき楽しみながら学べる工夫を凝らしたことにより、以前とは違った満足感に繋がったと感じました。

長府警察署との繋がりも深まった年度にもなりました。認知症フェアにはいつもご協力をいただいておりますが、今年度は長府警察署からのイベント企画の協力依頼があり、初の取り組みとしてボートレース下関にて「安全安心フェスタ」が開催されました。「安全安心フェスタ」では近年増加している、うそ電話詐欺の被害防止講習やスロージョギングでお世話になっている竹村先生をお迎えし、リズム体操を行うなど多くの方にご参加していただきました。また、「長府包括ネットワーク会議」で包括職員やケアマネを対象に交通安全事情や自動車免許返納、うそ電話詐欺の事件についてご講義いただきました。今年度の活動を通じて明らかになった地域課題もあります。詳細につきましては別添資料にてご報告に代えさせていただきます。

◎総合相談支援事業

令和4年度の訪問、来所、電話による相談件数は10,637件、月平均886件の対応を行いました。様々な悩みや質問、心配事の相談を受けましたが、主任ケアマネ、社会福祉士、看護師の3専門職が中心となり、包括内で情報共有し問題解決に取り組みました。今年度は特に認知症独居高齢者問題や、家族の協力が得られないケースが目立ち、内容が複雑化していると感じました。

◎指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

事業対象者、要支援1・2のケアマネジメントについては、1年間で7,093件（317件増）、内訳は直営3,637件（254件増）、委託3,456件（63件増）でした。中立公正に注意しつつ、利用者に合った介護サービスを紹介するよう心掛けました。予防プランの委託を拒否される事業所が多いため、包括職員の日々の業務が時間内で終わらない傾向が多くなりました。多忙化の中でも、しっかりと寄り添う気持ちを忘れず、今後もケアマネジャーとのネットワークを図りながら調整してまいります。

◎下関市高齢者住宅等安心確保事業

高齢者が自立して安心安全な生活ができるよう設計された、緊急通報システム付きのバリアフリー公営住宅で、長府古城市営APのR5,6,7,10,11の29部屋の入居者の安否確認、緊急時の駆けつけを24時間365日対応で行いました。日頃は包括職員が交代で生活相談室に出向き、生活指導や相談対応しました。この1年間は3件発報があり、駆け付け対応しました。入居者が入院先で亡くなるケースも2件ありました。古城町自治会長や福祉員さんと情報交換を行い、コロナ禍でも古城町集会所を活用した百歳体操やサロンを展開できるようになりましたので、今後も安心して生活していただけるよう支援していきたいと思えます。

◎高齢者在宅福祉サービス事業

下関市福祉サービスの申請については、配食サービス118件、緊急通報サービス32件の合計150件の希望があり、申請に必要な訪問モニタリングを実施し、手続きを行いました。今後も皆様からの要望に迅速に対応できるよう努めます。

また、今年度は高齢者在宅福祉サービスのうち、利用者が少ないサービス、年々利用者が減ってきているサービスについて、サービスの在り方、必要性等の検討が行われました。その結果、生活支援訪問サービスが令和4年度末をもって廃止されました。

◎介護予防ふれあい講座

コロナ禍の中でも、体温チェック、消毒、換気などの感染対策を行いながらの開催となりました。当初は年間12回を計画していましたが、講座の依頼が増えてきたため、年度途中で17回開催へと変更し、実施できました。

また、コロナで中止になっていた松小田中央のいきいき百歳体操教室も再開し、新規で逢坂町の教室が立ち上がりました。今後も、地域の皆様がコロナ禍でも、いつまでも笑顔で健康に過ごして頂ける地域を目指して、介護予防活動に取り組みたいと思います。

2022年度
明らかになった地域課題と対応状況

長府地域包括支援センター

	発見された地域課題	地域課題が発見された背景	対応状況	今後の課題
1	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症や精神疾患の疑いのある高齢者の孤立化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の同居人が死亡したことにより、警察や地域住民が介入し、問題発覚したケースがあった。 ・本人の支援拒否が強い方が多く、サービスに繋がらず、安否確認も苦慮している。 ・地域住民の継続支援に限界があり、在宅生活が危ぶまれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の自治会住民に声かけや安否確認の協力依頼 ・警察・保健所・生活安全課に相談し、情報共有 ・包括による定期訪問の継続 ・地域ケア個別会議の設定 ・配食サービスの提案 ・有償ボランティアの紹介 ・施設入所 	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関による地域見守りネットワークの構築 ・互いに助け合える自治会活動 ・お助け隊の立ち上げ支援 ・誰でも参加、相談できる居場所づくり ・成年後見制度の利用促進 ・医師、病院との連携強化 ・深刻な状態になる前の予防的支援
2	<ul style="list-style-type: none"> ・親族がいない、または親族がいても遠方で家族関係が稀薄な高齢者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で家族や民生児童委員が訪問できず、安否確認が不十分だった。 ・親族も高齢化しており、包括支援センターに支援を一任したり、一方的な要望だけを話し、一緒に考えることに至らないケースが多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉員や民生児童委員による各戸訪問や安否確認の声掛け、見守りの依頼。 ・サービス導入や施設入所に関し、方向性を見つけやすいよう選択肢を多く挙げ、最終決定は本人、親族にして頂けるよう提案した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル、インフォーマルのサービス導入の努力 ・深刻な状態になる前の予防支援として個別ケア会議や事例検討会の開催 ・家族との信頼関係を築くため、電話連絡等をあきらめず続ける
3				

令和4年度職員出張・研修実績報告

本部 みどり園（職員出張・研修）

日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数	日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数
5月	令和4年度実習指導者会議（下関福祉専門学校）	下関市	1名	9月	防災研修「もし下関で災害が起きたら」について	オンライン	1名
	令和4年度山口県老人福祉施設運営研修会	山口市	1名	10月	安全運転管理者講習会受講	下関市	1名
6月	福祉のしごとインターシップ事業所説明会	Web研修	1名		実務者研修	下関市	1名
	令和4年度山口県介護支援専門員更新研修	山口市	1名		高齢者入所施設向け感染対策研修	山口市	1名
	下関市社旗福祉法人地域公益活動推進協議会・令和4年度第1回役員会	下関市	1名		吉田学前厚生労働事務次官特別講演会	山口市	1名
	令和4年度介護職員による喀痰吸引等の指導者研修	山口市	1名	11月	医療・福祉の合同就職面接会	下関市	1名
	令和4年度介護職員等による喀痰吸引等（不特定多数の者）の研修	山口市	2名	2月	ふくし生活SOSフォーラム	オンライン	1名
	「将来世代応援企業賞」授与式出席のため	山口市	1名	3月	インボイス制度・電子帳簿保存法について	オンライン	1名
	令和3年度山口県介護支援専門員専門研修及び講習研修における未受講科目の振替	オンライン	1名		令和4年度下関市介護認定調査員基礎研修について	オンライン	1名
	第50回（令和4年度）山口県老人福祉施設相互研修会	山口市	1名		下関市老人福祉施設協議会施設長会議及び総会	下関市	1名
7月	介護支援専門員更新研修	オンライン	1名		山口県社会福祉法人経営者協議会令和4年度総会及び社会福祉法人経営力向上セミナー	山口市	1名
	令和3年度山口県介護支援専門員専門研修及び講習研修における未受講科目の振替	山口市	1名		山口県老人福祉施設協議会令和4年度総会（第2回）・施設長研修会	山口市	1名
	令和4年度介護施設における安全対策担当養成研修	Web研修	1名		施設内研修		
	令和4年度下関市地域福祉推進大会	下関市	1名	8月	感染症に対する基本的な知識・技術を身につける		
	令和4年度外国人介護留学生受入・支援セミナー受講	オンライン	1名		エンゼルケアの流れ改定に伴う説明		
	介護支援専門員更新研修	オンライン	1名	10月	高齢者福祉における職業倫理		
	第40回中国地区老人福祉施設長研修会	Web研修	1名	2月	虐待の芽チェックリスト		
	令和4年度介護職員等による喀痰吸引等（不特定多数の者）の研修	山口市	1名		自分の所属の事故分析と対策立案を行う		
8月	令和4年度新任職員研修会	オンライン	2名	3月	下関感染対策チームSICTの感染防護具（PPE）の着脱		
	令和4年度介護支援専門員更新研修	オンライン	1名		身体拘束廃止指針について		
	山口県栄養士会災害対策研修会「災害への理解」について	オンライン	1名		施設内研修（何気ない日常からリスクを感じとりましょう）		
	介護職員等による喀痰吸引等の指導者研修	山口市	1名		状態変化～ターミナルケア～振り返りまでの流れ		
	令和4年度介護職員等による喀痰吸引等（不特定多数の者）の研修	山口市	2名				
	実務者研修	オンライン	1名				

令和4年度事業記録

介護老人福祉施設 みどり園

月	行 事	参 考	月	行 事	参 考
4	みどり園開園41周年記念祝賀会 花祭り	フロア単位実施 居室・DS訪問	10		
5	日中想定火災避難訓練	全館対象	11		
6	土砂災害訓練	全館対象	12	クリスマス兼忘年会 コロナワクチン接種5回目	フロア単位実施 接種希望者
7	納涼祭	フロア単位実施	1	おとその会	フロア単位実施
8	盆供養 かき氷の会 コロナワクチン接種4回目	地域交流ホーム フロア単位実施 接種希望者	2	豆まき 夜間想定火災避難訓練	フロア単位実施 全館対象
9	敬老の日の集い	フロア単位実施	3	ひなまつり 日中想定火災避難訓練	フロア単位実施 全館対象

- ・ 個別処遇及び誕生日会は、フロア毎の月間プログラムに沿って実施。
- ・ 定期行事… 生花教室・音楽療法
- ・ 保育園交流会は、長府第1、第2、第3、第4保育園児が参加予定。
- ・ 防災行事は、令和4年 年間消防行事計画書に沿って実施。
- ・ 入所者の個別の外出、2～3名の少人数での行事を実施予定。

令和4年度職員出張・研修実績報告

みどり園訪問介護事業所

研 修			研 修		
日 付	事 項	開催場所	日 付	事 項	開催場所
4月	8日 倫理綱領について 専門職としての自覚を持ち仕事に取り組んでいく	園内	10月	14日 認知症について 認知症の方の気持ちを理解し、適切な対応が出来るようにする	園内
5月	13日 感染予防対策 サービスを提供する際の感染予防に係る手順について 正しい知識と技術を身に付ける	園内	11月	4日 介護保険について 被保険者資格の仕組み《財政・費用・負担》 介護職としてのスキルを高める	園内
	20日 サービス提供責任者会議	園内	12月	9日 訪問介護と虐待 虐待がおこる背景には様々な要因があり、身近な事だと意識する	園内
6月	10日 事故対策 ヒヤリハット・事故報告集計及び分析結果 事故への意識付けや業務改善の材料とし事故対策につなげる	園内	1月	介護現場で必要な接遇マナー 利用者から信用される接遇マナーを身に付け、介護しやすい環境を自ら作る ※コロナ対策の為会議を中止し、書面にて実施	
7月	8日 緊急時の対応（水分補給） 脱水等の急な体調変化の対応 緊急時・急変時に冷静に、そして的確な対応をとる	園内	2月	自分を守る介護術 ポイントを押さえ、少しでも腰にかかる負担をへらし自分を守る介助術を身につけていく ※コロナ対策の為会議を中止し、書面にて実施	
8月	調理 高齢者向けの食材が無い時のお助けレシピを参考にし、工夫して調理を行う ※コロナ対策の為会議を中止し、書面にて実施		3月	10日 障害者総合支援法に関する知識の習得 障害者の自立と地域社会への参加を支援する、大切な役割だと認識する	園内
9月	記録の書き方 適切な記録を書く為に留意するポイント 利用者を理解するための観察力を深めていく ※コロナ対策の為会議を中止し、書面にて実施				

令和4年度事業記録

みどり園デイサービスセンター (行事・実習生受け入れ他)

日付	事項	日付	事項
5月 18日	日中想定火災避難訓練 (特養日中想定)		
6月 2日	土砂災害訓練		
7月 27～30日	通所介護 そうめん流し (デイサービスホール)		
8月 3～6日	通所介護 かき氷の会 (デイサービスホール)		
9月 14～17日	通所介護 敬老会 (デイサービスホール)		
2. 職員出張・研修			
10月 31～	教育職員免許法の特例に基づく「介護等の体験」実習生受け入れ 1名		
11月 未定	パンフラワー・ペーパークラフト制作予定 希望者のみ		
12月 28～	教育職員免許法の特例に基づく「介護等の体験」実習生受け入れ 1名		
12月 14～19日	通所介護 クリスマス会兼忘年会 (デイサービスホール)		
1月 4～7日	通所介護 新年会 (デイサービスホール)		
2月 14日	通所介護 バレンタイン (デイサービスホール)		
3月 1～4日	ひな祭りの会(デイサービスホール)		
20日	日中想定火災避難訓練 (特養日中想定)		

日付	事項	場所	人数
6月 30日	第50回(令和4年度)県老人福祉施設相互研修会	山口市	1名
12月 6日	新型コロナウイルス感染症対策WEB研修	園内	6名

令和4年度職員出張・研修実績報告

みどり園居宅介護支援事業所

日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数	日付	出張・研修内容	開催場所	参加人数
4月	チームマネジメントに求められる「会議の進め方」【動画受講】	園内	1名	10月	令和4年度山口県主任介護支援専門員更新研修	山口市	1名
					「デジタルを活用した採用力セミナー」	市内	1名
5月	居宅ケアマネジャーのお仕事ガイド【動画撮影及び編集】	自宅	1名				
	令和4年度下関市介護支援専門員協会総会・研修会【動画受講】	園内	3名	11月	令和4年度山口県主任介護支援専門員更新研修	山口市	1名
					不安を考える人を支援するための心理学的理解【動画受講】	園内	1名
6月	令和4年度介護支援専門員更新研修（講師）【動画撮影及び編集】	自宅	1名				
	令和4年度介護支援専門員更新研修（講師）	山口市	1名	12月	居宅介護支援の業務実態の調査研究事業	山口市	1名
					令和4年度介護支援専門員実務研修及び更新研修（講師）	市内	1名
7月	令和4年度介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅱ）	山口市	1名				
				1月	令和4年度介護支援専門員実務研修及び更新研修（講師）	山口市	1名
9月	令和4年度山口県主任介護支援専門員更新研修【動画受講】	自宅	1名	2月	「精神障害を理解しコミュニケーションを高めよう」【動画受講】	市内	3名
				3月	令和4年度介護支援専門員スキルアップ研修会【動画受講】	園内	1名

令和4年度事業記録

ケアハウスわかば

日	付	事 項	日	付	事 項	
4月	1日	床暖房停止	12月	1日	文化祭片付	
		お花見バスハイク（勝山城址）		5日	居室換気扇掃除	
	29日	瑞宝単光章 受章 岡野恵子		15日	クリスマス会&忘年会	
5月	6日	消防設備総合点検（三晃空調・山口防災工業）		16日	5回目 新型コロナワクチン接種（入居者）	
	8日	母の日 カーネーションプレゼント		22日	エレベーター点検（日立ビル）	
	13日	委託業者による受水槽清掃		27日	年末大掃除	
	23日	食堂換気扇修繕		28日	門松設置	
	31日	第54回入居者懇談会	1月	1日	元旦の挨拶	
6月	9日	食堂換気扇修繕		3日	書初めパフォーマンス	
	15日	土砂災害避難訓練		4日	初詣（忌の宮神社）	
	24日	5階屋上転落防止柵設置 中国電気保安協会		11日	門松撤去	
	27日	夜間想定避難訓練		31日	下関市議会議員選挙不在者投票	
7月	5日	七夕飾り	2月	3日	豆まき	
	7日	参議院議員選挙不在者投票			感染予防研修 PPEについて	
	6日	エレベーター点検（日立ビル）		20日	感染対策訓練 ゾーニング	
	8日	洗濯槽除菌作業		21日	非常用自家発電機バッテリー交換（山口防災）	
	11日	電気工作物年次点検（中国電気保安協会）		24日	下関感染対策チーム（SICT）感染対策ラウンド （下関市福祉部、保健所、SICT）	
	16日	長府ふるさと祭り 書道パフォーマンス参加 ボランティア 開園19周年記念祝賀会	3月	20日	1階エアコン室外機 修繕	
8月	5日	4回目 新型コロナワクチン接種（入居者）			特殊建築物定期調査（防火戸点検 山口防災工業）	
	22日	敬老会		30日	エレベーター点検 日立ビルシステム	
9月	15日	台風14号接近に伴う準備 311号エアコン修理	日 付 出 張			
	18日	結核予防健康診断（山口県予防保健協会）	5月	30日	令和4年度 山口県老人福祉施設運営研修会 施設長（山口市）	
10月	6日	第55回入居者懇談会	6月	30日	第50回（令和4年度）山口県老人福祉施設相互研修会 相談員・管理栄養士（山口市）	
	26日	東消防署立入検査	10月	1日	高齢者入所施設向け感染対策研修 介護職員（山口市）	
	27日	床暖房開始		20日	吉田学前厚生労働事務次官特別講演会 施設長（山口市）	
11月	1日	消防設備総合点検（山口防災）	3月	14日	山口県老人福祉施設協議会 令和4年度総会（第2回） 施設長研修会 相談員（山口市）	
	4日	わかば文化祭（30日まで）		24日	下関市老人福祉施設協議会総会 施設長・相談員（市内）	
	8日	日中想定避難訓練	定期的行事、委員会等			
	15日	バスハイク東行庵	毎月2回実施	毎月1回実施	1/3ヶ月	年2回
	16日	わかば喫茶	ショッピング	季節のお菓子作り	事故対策委員会	事故対策研修
	17日		書道教室	誕生日会	高齢者虐待防止委員会	高齢者虐待研修
			布手芸	身体測定	感染予防委員会	感染対策研修
			頭の体操	行事業務会議		

令和4年度事業記録

下関市長府地域包括支援センター

日付	事項	日付	事項	日付	事項
4月 11 日	管理者・副管理者会議	7月 16 日	ふるさと祭り【減災ナース】参加	11月 29 日	古城買い物バス
4月 14 日	オレンジカフェ スタッフ会議	7月 28 日	下関病院認知症疾患医療センター連携協議会	12月 23 日	地域包括支援センター運営協議会
4月 28 日	安養寺百歳体操体力測定	7月 30 日	下関市ボランティア連絡協議会令和4年度交流会	1月 15 日	城下町マラソン減災ナース救護活動
5月 9 日	松小田本町百歳体操	8月 1 日	集団指導勉強会	1月 17 日	事例検討会
5月 10 日	管理者・副管理者会議	8月 5 日	下関市地域福祉計画の策定に係る地域懇話会	1月 18 日	重層的支援体制整備社協聴き取り
5月 13 日	王司小学校認知症サポーター養成講座打合せ	8月 12 日	健康長寿プロジェクトの説明会	2月 9 日	認知症地域支援推進員連絡会議
5月 16 日	松小田本町百歳体操	8月 17 日	長府東部地区文化祭実行委員会	2月 10 日	推進室聞き取り
5月 17 月	地域ケア個別会議	8月 19 日	社協との事業計画すり合わせ	2月 12 日	長府東部防災訓練
5月 19 日	県地域包括・在宅介護支援センター協議会総会	8月 24 日	下関市消費者安全確保地域協議会総会	2月 13 日	松小田中央百歳体操
5月 21 日	長府自治会長会議	8月 26 日	地域包括支援センター運営業務に係る意見交換	2月 13,14 日	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業打合せ
6月 2 日	推進室聞き取り	8月 28 日	豊城自治会自主防災会	2月 17 日	長府東部自治会長会議
6月 7 日	キッズサポーター養成講座【王司小学校】	9月 7 日	長府東部自主防災会議	2月 22 日	下関リハビリ看護専門学校実習生受入
6月 10 日	長府東公民館審議会	9月 17 日	長府自治会長会議	2月 27 日	地域ケア個別会議
6月 11 日	長府東部防災会議	10月 5 日	長府東部地区福祉員連絡協議会(支え合い推進会議)	3月 12 日	認知症フェアin長府東部
6月 14 日	地域ケア個別会議	10月 17 日	下関看護リハビリテーション学校実習打ち合わせ	3月 14 日	長府包括ネットワーク会議「悪質商法撃退講座」
6月 17 日	地域包括支援センター運営協議会	10月 18 日	長府地域ネットワーク会議	3月 17 日	地域包括支援センター運営協議会
6月 29 日	長府地区 HHの集い	10月 22 日	安全・安心フェスタinポートレース下関	3月 21 日	古城町関係者会議
7月 3 日	松小田北町避難訓練	11月 13 日	長府東部地区文化祭		
7月 13 日	長府東部文化祭実行委員会	11月 24 日	秋の交通安全教室		

【週2回】定例開催	古城百歳体操 37回開催(8、9月中止)	松小田北町防災会議	6回出席(4/23、5/28、8/6、9/3、12/3、2/4)		
【月1回】 定例開催	所長会議 12回開催	みんなの健康サロン	6回開催(6/16、10/20、11/17、12/15、1/19、3/16)	認知症 サポーター 養成講座	長府公民館(5/20) 王司小学校(6/7)
	弁護士相談会 12回開催	ふるさと祭り実行委員会	5回出席(4/12、4/28、5/27、6/14、7/5)		豊浦小学校(6/23) 長府小学校(9/28)
	地区民児協定例会 長府地区協議会 12回開催	減災ナース会議	7回出席(4/15、4/26、5/14、8/19、9/10、10/14、3/25)		長成中学校(9/29) 長府中学校(9/30)
	地区民児協定例会 長府東部地区協議会 11回開催(9月中止)	長府スロージョギングの会	6回開催(4/16、6/18、8/20、9/17、11/19、3/18)		長府高校(2/8) 認知症フェア(3/12)
	下関若年性認知症家族の会『ピースの会』11回開催(8月中止)	長府包括社会福祉士チーム会議	2回開催(4/21、6/1)		
	長府東部地区まちづくり協議会運営委員会10回開催(4、8月中止)	地域密着型 運営推進会議	あやリハ長府店(6/11、12/10)	いきいき百歳体操教室	長府松小田中央(8/8)
	長府公民館出張相談 14回開催(4、6月2回開催)		グループホーム夢ごち(6/17、10/21、12/16、2/17)		長府逢坂町(6/13、6/20、6/27、7/4、9/12)
	オレンジカフェ古城 10回開催(8、9月中止)		特別養護老人ホーム夢ごち(6/17、10/21、12/16、2/17)		
長府包括看護師チーム会議 13回開催(1月2回開催)	出前講座	逢坂町(6/6、21)	介護予防 ふれあい講座 【17回開催】	豊城東(5/31、10/25)	
認知症初期集中支援チーム員会議 24回開催		中土居自治会サロン(9/10)		スロージョギング(5/21、10/15、12/17)	
包括会議 24回開催		才川2町(11/24)		三島町(7/5、9/20、11/1、3/7)	
社会福祉士(9/21、12/21)主任ケアマネ(10/19、1/18)		長府高校(2/21)		才川二町(8/25)	
看護師(11/16、2/15)		豊城東(2/28)		中尾町(10/6)	
3職種別オンライン交流会					日の出(10/13)
					珠の浦(11/25、3/24)
					黒門南町(12/6)
					中土居(12/10、3/11)

令和4年度 事業記録

下関市長府地域包括支援センター（職員出張・研修）

日付	内 容		参加人数	日付	内 容	場 所	参加人数
5月 11日	川島隆太教授オンラインセミナー	オンライン	1名	10月 28日	地域包括支援センター管理職研修会	山口県庁	1名
5月 19日	山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会総会	オンライン	1名	10月 29日	男女共同参画講座	菊川ふれあい会館	1名
6月 2日	脳の健康教室オンラインセミナー	オンライン	1名	11月～12月	依存症支援研修	オンライン	1名
6月 14日	難病医療従事者研修会	オンライン	1名	12月 29日	市町村等介護保険苦情処理業務担当者研修会	オンライン	1名
6月 25日	男女共同参画講座	勝山公民館	3名	1月 13日	依存症に関する研修会	オンライン	2名
7月 1日	地域包括ケアシステム強化セミナー	オンライン	1名	1月 14日	下関市医療・介護ネットワークハイブリット研修会	オンライン	1名
7月～10月	介護支援専門員更新研修（専門研修課程Ⅱ）	オンライン・セミナーパーク	4名	1月 24日	移動支援セミナー	オンライン	1名
8月22日、29日	ひきこもり支援研修	オンライン	1名	2月 1日～3日	下関市感染対策チーム「sict」動画視聴研修	動画視聴	11名
9月 2日	主任介護支援専門員更新受講要件研修No. 3	動画視聴	1名	2月 3日	キャラバンメイトスキルアップ研修及び連絡協議会	動画視聴	2名
9月 3日	下関市医療・介護ネットワーク研修会	オンライン	3名	2月 16日	下関市家族介護者教室オブザーバー	川中公民館	2名
9月～11月	主任介護支援専門員更新研修	オンライン・セミナーパーク	2名	2月 17日	介護支援専門員スキルアップ研修会	オンライン	1名
9月 11日	山口県認知症カフェサミット	オンライン	1名	2月 17日	ひきこもり支援研修会	オンライン	1名
9月 16日	主任介護支援専門員更新受講要件研修No. 4	動画視聴	1名	3月 2日	下関市家族介護者教室オブザーバー	川中公民館	2名
9月 27日	暮らしと人権セミナー	勝山公民館	2名	3月 3日	認知症施策連携推進研修会	オンライン	1名
10月 3日	主任介護支援専門員更新受講要件研修No. 5	動画視聴	1名	3月 3日	権利擁護支援シンポジウム	オンライン	1名
10月 5日	高齢消費者被害防止見守りセミナー	オンライン	1名	3月 4日	認知症を考えるセミナー	オンライン	1名
10月 8日	男女共同参画講座	勝山公民館	4名	3月 17日	重層的支援体制整備事業セミナー	オンライン	1名
10月 11日	安全運転管理者等講習	菊川ふれあい会館	1名				